

平成30年度(2018年度)

管理事業名	武道館事業			総合計画の体系	第4章 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 第3節 スポーツに親しめるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費 (目) 37 武道館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室		
予算大事業名 武道館管理事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要 指定管理者制度において、武道館の管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
武道館利用者数、目標利用者数 109,365人	人	99,286	100,091	55,410	個人使用、専用使用、共催スポーツ教室、大会の利用者数
武道館使用料収入額	千円	11,682	11,619	6,897	使用料収入決算額
成果の説明	平成28年度に施設使用料を改定し、専用使用料、個人使用料ともに引き下げとなったことにより平成29年度の利用者数は、増加しました。しかし、平成30年に発生した大阪府北部地震による閉館(同年7月1日より弓道場再開、平成31年1月4日より全館再開)のため、前年度比で、利用者数は44,681人(44.6%)、使用料収入は4,722千円(40.6%)減少しました。 【災害による各室の閉館期間(平成30年6月18日～)】 弓道場は平成30年7月1日再開。第1、第2、第3武道室は平成31年1月4日再開。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	11,682	11,619	6,897	△4,722
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,999	1,882	2,348	466
経常収入 小計(a)	13,681	13,501	9,245	△4,256
給与関係費	2,422	2,120	2,610	490
物件費	92,325	92,976	95,447	2,471
維持補修費	3,532	72,005	22,751	△49,254
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	17	2	-	△15
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	58,283	58,283	58,283	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	154	188	294	106
退職手当引当金繰入額	103	△97	593	690
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	156,836	225,477	179,978	△45,499
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△143,155	△211,977	△170,733	41,243
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△143,155	△211,977	△170,733	41,243
一般財源充当額	85,011	153,954	89,569	△64,385
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△58,144	△58,023	△81,165	△23,142

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	指定管理委託料 89,539千円 建築物・建築設備定期点検委託料等 405千円
維持補修費	震災に伴う調査・補修工事 19,989千円 非常用蓄電池更新 1,782千円 第1武道室床及び2階破風・瓦修繕 981千円
減価償却費	武道館 建物分

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	13,681	13,501	9,245	△4,256
行政サービス活動支出	98,692	167,454	121,241	△46,213
行政サービス活動収支差額	△85,011	△153,954	△111,996	41,958
投資活動収入	-	-	2,527	2,527
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	2,527	2,527
財務活動収入	-	-	19,900	19,900
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	19,900	19,900
収支差額 合計	△85,011	△153,954	△89,569	64,385
一般財源充当額	85,011	153,954	89,569	△64,385
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成28年度	99,286 人	1,580 円	武道館の利用者1人あたり 3,248円のコストがかかっています。震災による閉館に伴う利用者減の影響により1人あたりのコストが増加しました。
	平成29年度	100,091 人	2,253 円	
	平成30年度	55,410 人	3,248 円	
閉館1日あたりのコスト	平成28年度	359 日	436,870 円	武道館1日あたり 520,169円のコストがかかっています。震災による閉館の影響により、平年より1日あたりのコストが増加しているものの、外壁改修(69,995千円)により大幅に増加した平成29年度比では107,902円減少しました。
	平成29年度	359 日	628,071 円	
	平成30年度	346 日	520,169 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	188	294	106
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	188	294	106
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	3,744,315	3,686,032	△58,283	その他流動負債	-	-	-
土地	2,485,361	2,485,361	-	固定負債	1,978	22,227	20,249
建物・工作物	1,258,954	1,200,672	△58,283	地方債	-	19,900	19,900
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	1,978	2,327	349
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	2,166	22,520	20,354
建物・工作物	-	-	-	純資産	3,748,149	3,669,512	△78,637
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	6,000	6,000	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	3,750,315	3,692,032	△58,283
資産の部合計	3,750,315	3,692,032	△58,283	負債及び純資産の部合計	3,750,315	3,692,032	△58,283

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

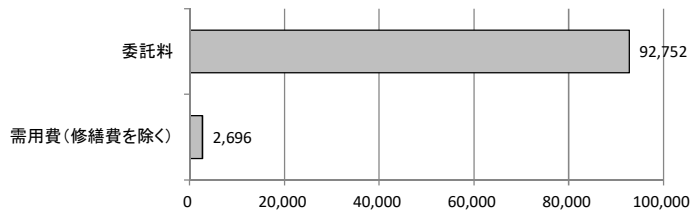
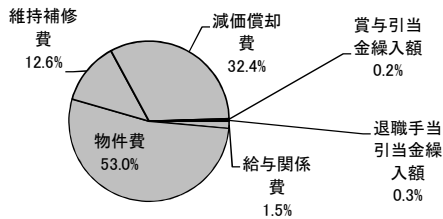
事業従事人数	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
0.35人	3,497千円				3,497
給与関係費等	163千円				
内、時間外勤務手当					

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	武道館
建物・工作物	減価償却による減
重要物品	書4点

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立武道館(洗心館)
取得年月日	平成5年(1993年)4月25日(供用開始)
建物・工作物の取得価額	2,687,979 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,487,308 千円
利用料金収入	6,897 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率	0.1	2.7	0.8	△ 1.9
施設老朽化比率	51.0	53.2	55.3	2.1
受益者負担比率	7.4	5.2	3.8	△ 1.4
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	86.1	91.9	73.9	△ 18.0
経常費用対公共資産比率	5.8	8.4	6.7	△ 1.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

既存施設の老朽化が55.3%と2.1ポイント進行しました。
コスト全体の53.0%を物件費が占め、そのうちの93.8%を指定管理委託料が占めています。
物件費に次いで主なもの減価償却費が32.4%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

武道館は、平成23年度より指定管理者制度を導入しています。
平成28年度から5年間、効率的かつ効果的な管理を図るため、吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービスグループが指定管理者として管理運営を行っており、指定管理者により券売機を設置し受付方法の簡素化を行うなど、市民の利便性の向上を図っています。
平成30年度は非常用蓄電池更新工事(1,782千円)のほか、大阪府北部地震および台風21号による被害に伴う調査や補修工事などを行いました。
令和元年度は、大阪府北部地震および台風21号による被害のあった、屋根瓦の修繕工事を実施していく必要があります。
今後も計画的に維持補修を実施し、施設の長寿命化を図ることが必要です。